＼八尾をどっぷり楽しむ環境情報マガジン／ No.130

河内の風

04
2016

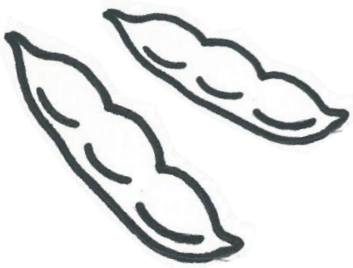
FM ちゃお

市民環境講座 3月17日(木)

自然環境と災害のハナシ
～地図は知っていた～
昔の人は災害が起こる場所を知っていた

高安の森
自然楽校

八尾の特産物
枝豆



八尾ふるさと
歴史楽校

環境アニメイティッドやおは、八尾市内で環境問題に取り組んでいる
市民・市民団体・企業・教育機関などを応援するための協議会です。

環境アニメ 検索

市民環境講座

～地図は知っていた～

自然環境と災害の話

３月17日（木）午後８時から、高安コミュニティセンターにおいて、市民環境講座「自然環境と災害のハナシ」が開催されました。当日は高安地域に住む方や、森林整備に参加している方、学生など、合わせて32名の参加をいただきました。

はじめに環境アニメイティッドやお運営委員の岡見氏から、環境アニメイティッドやおの概要と事業内容、そして森林整備の重要性についてお話しいただきました。

つぎに、NPO法人自然と緑の齊藤先生から、「自然災害から守るために地図は知っていた」という題で講演をいただきました。

齊藤先生のお話では、昔の人は偉かったということでした。どうしてかというと、昔の人は災害が起こりやすい場所を把握し、それを地名にすることで周りに知らせていたからなんです。

例えば「蛇・龍」がつく地名は、過去に大規模な土砂災害が発生していることが多いらしいです。増水時に川が蛇行したり、山上から土砂が蛇が暴れるように流れ下る様子を見立てて地名にしているということです。

参加いただいた方からは、「普段気にもかけない地名の由来などを学び、日ごろから危険を予測し、対策をすることの大切さを知りました。」や「常に危機感をもって、いつでも避難する準備を万全にしておくべきだと感じました。」という感想をいただきました。

（事務局）

28年度年間計画

八尾ふるさと 歴史楽校

月	日程	活　動
4月	16日(土)	在原業平　高安通いの道
5月	21日(土)	物部遺跡と八尾飛行場
6月	18日(土)	長瀬川を下る
7月	9日(土)	狭山池と河内四国４番
8月		休み
9月	17日(土)	山ねきの村相撲墓碑
10月	15日(土)	たつた越え　国分～王寺
11月	19日(土)	真田丸から難波の宮へ
12月	17日(土)	物部の祖の地を歩く
1月		休み
2月	18日(土)	神立・大窪の古墳を歩く
3月	18日(土)	恩智川を下る

高安の森　自然楽校

月	日程	活　動
4月	23日(土)	伊丹緑道
5月	28日(土)	大仙公園
6月	25日(土)	大和民俗公園
7月	23日(土)	服部緑地
8月	27日(土)	箕面の滝
9月	24日(土)	高安山立石越え 高安山レーダー
10月	22日(土)	高井田横穴古墳群
11月	26日(土)	高安山でツル採取と リース作り
12月	24日(土)	高安山でツル採取と カゴ作り
1月	28日(土)	西宮北山植物公園の 自然環境を学ぶ
2月	25日(土)	間伐材にシイタケの 植菌
3月	25日(土)	京都植物園の自然

ただいま、アニメイティッド会員募集中！

八尾の見どころ

～新シリーズスタート～

ＦＭちゃお取材日記より（１）

今回、新規のシリーズとして、FMちゃおの取材日記を通して八尾の見どころを紹介します。FMちゃおには膨大な取材日記が蓄積されており、これを活用しない手はありません。

取材日記はもとよりFMちゃおの仕事として作成されたものですが、八尾でのありとあらゆる行事や取組みを取材しており、環境問題を広く考えることができる「見どころ」を提供することができる日記にもなっています。

最近１年間の取材日記をみると、

① 長瀬川、高安山、自然環境に関係するもの
② 八尾の歴史や伝統に関係するもの
③ 地域の取組みなどコミュニティに関係するもの
④ 若ごぼうや農園に関係するもの
⑤ 工業、商業に関係するもの

などが主な内容になっています。

このシリーズでは広報紙「河内の風」の発行月に合わせて、その月の取材日記を取り上げ「見どころ」を紹介していくことにします。

（広報委員　東郷　久）

＜FMちゃおからのあいさつ＞

今月からの新シリーズで、FMちゃおの「取材日記」を取り上げて頂くことになりました。

ちゃおは年間2,000件を超える八尾市内の地域取材を行っており、その模様をブログに掲載しています。

FMちゃおの場合、取材に行くスタッフは主に若手が中心です。番組内でわかりやすく話をするためには、まず文章を組み立てる力をつけるのが近道なんですよね～。

その膨大な取材日記の中から、イチおし“八尾の見どころ”をみなさんにご案内します。

八尾の春夏秋冬、歴史、産業から環境まで情報満載。どうぞお楽しみに！！

（FMちゃお業務部　鈴木　昌宏さん）

八尾と能楽

～起源は中国から～

能楽について（１）

能楽は、奈良時代に中国から伝わった散楽（さんがく）が起源と考えられています。

散楽とは飛んだり跳ねたり、今のサーカスのようなもの。それに平安時代に歌や楽器、踊りが加わり、農耕儀礼として田楽（でんがく）が生まれました。さらに台詞（せりふ）がつきストーリー性をもつ民衆芸、猿楽（さるがく）になったんです。

時代が下り南北朝時代に猿楽は舞台芸術として発展し、神社に翁舞を奉納することを基本とするも職業化し「座」、すなわちプロダクションができます。

室町時代に京都今熊野において、観阿弥・世阿弥父子が演じた猿楽が将軍足利義満を魅了しました。

以後猿楽は幕府の庇護を受け、武士のステータスとなって発展し、さらに隆盛を極めます。

田楽踊り
（出典：小学館「能・狂言図典」）

江戸時代には村の寺や神社で猿楽が演じられ一般庶民も親しむようになり、やがては庶民の中から演者も現れ、普及していきました。

中世においては、能は劇を意味し「猿楽の能」とか「田楽の能」と表現されていましたが、猿楽の人気が圧倒し、江戸時代末になると「猿楽の能」が「能楽」になり、明治からは能楽でほとんど統一されました。

（坂上　弘子さん）

学校ビオトープ

～参加者７２名～

もちつきや フラグフットボールをして楽しむ

次回予定 10月15日(土)

３月26日（土）、暖かな春の日差しのもと八尾北高校で、通算第24回目の学校ビオトープ＆野外調理体験交流会が行われました。

当日は、72名もの方々が参加くださって、ビオトープでは、ドームテント張り、花の苗の移植、大根の収穫、樹木の剪定、フラグフットボールを使った軽スポーツなどで楽しんでいただきました。

また、野外調理では、あく抜きして持参いただいた八尾の特産若ゴボウも入ったミネストローネの調理と、災害備蓄米（五目ご飯）の試食。そして、大人、大学生、高校生、子どもたちのみんなでついたお餅４升分を、あんこやきな粉、おろし醤油や海苔巻きでいただきました。

どれも、おいしくて、何杯も、いくつもおかわりして、お腹いっぱいになりました。

予定の作業や食事のあとは、恒例のフリータイム。子どもたちは、ビオトープのあちこちで、カエルを捕まえたり、ツリーハウス、ブランコ、ハンモック、シーソー、池の周りや井戸の水のくみ上げを楽しんだり、芝生で高校生や大学生との追いかけっこを満喫したりと、はつらつとした表情でした。

そして、みなさんで後片付けもしていただき、無事、楽しい交流会を終えることができました。ありがとうございました。

（八尾北高校　塚口　倫生さん）

環境学習施設

～3月20日（日）～

「環境学習施設を考える会・発起人会」に参加！

環境学習施設は全国各地に多数あり、その規模、事業内容は多種多様で、運営している管理者も方向性を模索している状況にあります。

そこで、全国の環境学習施設をネットワーク化することにより、知識や経験を共有するとともに、その効果や学習の評価の方法を一緒に考える「環境学習施設を考える会・発起人会」を関係者有志で立ち上げることになりました。

第1回目の「環境学習施設を考える会・発起人会」に（国崎クリーンセンターで開催）学習プラザ「めぐる」運営委員の東郷氏と小林が参加しました。

前例のない取組みのため、参加者が集まるかどうか心配されましたが、北海道から広島まで、全国の環境学習施設の有志が集い、様々な課題と対策、そして全国ネットワークの構築について話し合いました。

≪主な内容≫

- ◆ 環境学習施設の現状について
  担当：花嶋温子（大阪産業大学）
- ◆ 自己紹介
- ◆ テーブルセッション１
  （グループ討議＝課題キーワード抽出）
- ◆ テーブルセッション２
  （課題の発表、課題克服への対策討議）
  担当：齋藤友宣（京都市ごみ減量推進会議 事務局）
- ◆ 考える会・設立準備に関する事項について調整
  （※設立趣旨、運営、総会日程調整、その他諸事）
  担当：鈴木榮一（国崎クリーンセンター啓発施設）

八尾市立リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」
所長　小林　裕五さん

～環境保全に取り組む企業～ Vol.1

株式会社シーズクリエイト

株式会社シーズクリエイト
住所：八尾市弓削町南1-18
ＨＰ：http://www.seeds-c.co.jp

ＪＲ関西本線「志紀駅」から南西へ徒歩10分。株式会社シーズクリエイトの工場見学に行ってきました。シーズクリエイトさんは、西日本最大級の規模を誇る印刷会社で、新聞の折り込み広告からカタログなど、色々なものを印刷されています。

まず建物に入って目に付いたのがこのマーク。

ＧＰ（グリーンプリンティング）マークというそうです。

日本印刷産業連合会が制定した印刷産業界の環境自主基準で、本基準を達成した工場・事業所を認定、環境経営に積極的な印刷関連企業として推奨するとともに、同基準に適合した印刷製品にグリーンプリンティングマーク（ＧＰマーク）を表示することにより、環境に配慮した印刷製品が広く普及することを目的としているそうです。

さらに、工場を歩いていると、屋根の上に奇妙なものを見つけました。（写真左）

あれは何かと聞いてみたところ、夏場にスプリンクラーで水を散布して屋根を冷やし、屋内の空調温度を上げることで、CO2削減に取り組んでいるそうです。

他にも面白い取組みをお聞きしました。印刷工程の途中で写真のような余り紙がどうしても出てしまうようです。（写真右）

いつもは、これをリサイクルして適切に処理していますが、一部を近くの保育園に提供して、子どもたちが自由に絵を描くキャンパスとして活用しているそうです。

シーズクリエイトさんの工場見学を通して、印刷業へのイメージが随分変わりました。「限りある資源を適切に使う」大切さを学びました。

（枡谷　郷史さん）

イーコラム
E-column

当たり前になった「エコ」の価値観について

1992年の地球サミットから20年以上の月日が流れました。当時に比べ、現代では「エコ」の価値観は十分に人口に膾炙（かいしゃ）したと言えるでしょう。

私はこれを「エコが当たり前になった時代」と呼んでいます。ただ、当たり前になることは良い事ばかりではないです。「エコ」のイメージが固定化され、問題の本質に対する洞察を鈍くする恐れがあります。

例えば、「震災復興の問題は、「エコ」の問題ではないから私には関係ない…！」といったようなことです。

このような状態に陥らないためにも、「エコ」の捉え直しが必要ではないでしょうか。

私の所属するエコ・リーグは「異分野協働」を掲げイベントを開催しましたが、これもその一つの施策です。いわゆる「エコ」ではない分野の活動家とのコミュニケーションが、逆に私たちが扱おうとする「エコ」の本質への洞察のヒントになると、私は考えています。

（NPO法人エコ・リーグ　崎浜　公之さん）

活動情報

ご参加をお待ちしています！

4/22（金）

環境アニメイティッドやお
第１２回 定期総会

27年度の事業活動報告・会計決算報告・会計監査報告と
28年度の事業活動計画(案)・予算(案)を話し合います。
総会後、交流会を開催します。

時間 午後6時30分～
場所 八尾市役所本館 6階大会議室

4/16（土） 弁当持参

歴史・名所の再発見！
八尾ふるさと歴史楽校

時間 午前9時30分～午後3時
場所 近鉄竜田川駅改札口集合
玉祖神社解散

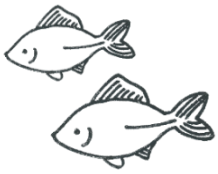
名所・旧跡に触れ八尾の歴史に
親しんでいきます。
今回は、竜田川から十三峠を越え
玉祖神社まで歩きます。

4/17（日） 弁当持参

ニッポンバラタナゴ
保護池の定期調査活動

時間 午前9時～
場所 近鉄服部川駅改札口集合

ニッポンバラタナゴの生態を守る
ために水質調査や生態調査を行い
ます。

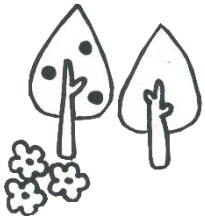


4/23（土） 弁当持参

誰でも自然ハカセになれる！
高安の森自然楽校

時間 午前10時～午後3時
場所 JR伊丹駅改札口集合・解散

高安山の自然を通して
森林ボランティアを養成する講座。
今回は伊丹緑道を散策しながら
自然について学びます。



4/28（木） 弁当持参

山のレスキュー探検隊
楽音寺森林整備定期活動

時間 午前10時～
場所 大阪経済法科大学
本部棟前集合

大阪経済法科大学の裏山にある
竹林の整備をしながら、
ツリーハウス作りなどを
しています。

5/1（日） 弁当持参

アウトドア派集まれ！
高安山自然再生定期活動

時間 午前9時30分～
場所 近鉄信貴山口駅
改札口集合

地域の方々と一緒に、
絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」
の保全活動に取り組んでいます。

河内の風はこちらで

近鉄八尾駅・河内山本駅・久宝寺口駅・Potager・
八尾市内各出張所・八尾図書館・山本図書館・志紀図書館・
龍華図書館・市立病院・プリズムホール・
学習プラザめぐる・かがやき・ウイング・歴史民俗資料館・
教育サポートセンター・屋内プールしぶき・
まちなみセンター・サポートやお・ＦＭちゃお・つどい・
みらい・福祉会館・近畿労働金庫八尾支店・
大阪経済法科大学

4/25（月）

地域密着型ラジオ番組
「情報プラザやお」放送

環境アニメイティッドやおの情報を
定期的にFMちゃおで放送しています。

時間 正午～、午後7時～、午後11時～